

報道関係者各位



2009年11月26日  
西日本電信電話株式会社

NTT西日本コミュニケーション大賞が、「涙」に関する意識調査を実施

## 感動の涙は、明日へのエネルギーとなる 77.7%の人が涙を流すことで“心をリフレッシュ”している

～ 45.4%の人が涙を流すことを「自分にとって必要な行為である」と回答～

調査期間：2009年10月23日～26日 調査対象：全国の10代～70代の男女700人 / インターネットアンケート

NTT西日本(西日本電信電話株式会社 大阪市中央区 代表取締役社長:大竹伸一)は、「コミュニケーションについて考え、その大切さを再発見してもらいたい」という思いから、第7回「NTT西日本コミュニケーション大賞」を開催し、涙や感動を誘う「ちょっといい話」を、2009年10月19日(月)から2010年1月19日(火)まで、西日本エリア(富山県、岐阜県、静岡県以西の30府県)在住の一般および団体さまより、募集しています。

本施策に関連して、このたび「NTT西日本コミュニケーション大賞」は、脳生理学者であり、「涙」研究の第一人者である有田秀穂教授(東邦大学医学部)の監修のもと、全国の10代～70代の男女700人を対象に、「涙ニーズと涙の効果」に関する生活者意識調査を実施いたしました。

今回の調査結果からは、多くの人がエンタテインメント作品に「感動の涙」を求めており、涙を流すことで、スッキリしたり、リラックスしたりという“心のリフレッシュ効果”を実感していることがわかりました。さらに、涙を流すことは“自分にとって必要な行為”であり、人前で涙を流すことには抵抗がなく、泣きたい時は我慢しないという意識も見られ、涙を流すことをポジティブに捉えている人が多いという結果となりました。

有田教授の研究でも、感動した時に流れる涙は人間の副交感神経を刺激し、「ストレス緩和に作用する」ことが実証されており、ストレス社会では、自浄作用のある「感動の涙」は“明日へのエネルギー”として効果的であることが、改めて確認できました。

一方で、今回の調査において、多くの人がインターネットなどで手軽に楽しめるエンタテインメント作品を求めていることもわかりました。「NTT西日本コミュニケーション大賞」でも、インターネットで手軽に感動を堪能いただけるよう、公式サイト上にこれまでの受賞作品＝「涙と感動へ誘う珠玉の短編ストーリー」を朗読コンテンツとして多数、公開しています。感動作品を読み、朗読を聴いていただき、自らの体験談を新たな感動作品として発信(応募)していただければと願っております。

NTT西日本は、今後もあらゆる事業活動を通じ、皆さまとともに「豊かなコミュニケーション」の醸成に寄与してまいります。

涙と感動を誘う珠玉の短編ストーリー  
これまでの受賞作・全87作品を公開中

第7回「NTT西日本コミュニケーション大賞」公式サイト  
<http://www.ntt-west.co.jp/com-tai/>

(調査報告)

76.1%の人が、エンタテインメント作品に感動を求め、感動の涙を流している。

最近涙を流した理由については、69.1%の人が「泣けるエンタテインメント作品」(映画、小説、テレビドラマ等)をあげています[表1]。中でも「テレビを観て」をあげた人は72.7%と最も高く、次いで「映画を観て」が59.3%、「本を読んで」が38.1%となっており[表2]、その理由として、「感動作品が多いから」と回答した人が62%にも上りました[表3]。更に、エンタテインメント作品を選ぶ際に重視する点として「感動できる」をあげた人は全体の76.1%となっており[表4]、多くの人が感動を求め、それによって涙を流しているという傾向が確認されました。

77.7%の人が、涙に“心のリフレッシュ効果”を感じている。

「涙を流すことで、どのような気分になりましたか」という質問には、「気分転換になった」、「癒された(リラックスした)」、「スッキリした」人がいずれも35%を越え、「ストレス解消(発散)になった」人も21.4%となっており、全体の77.7%の人が涙を流すことで何らかの“心のリフレッシュ効果”を実感していることがわかりました。また50代・60代男性の半数以上が「癒された(リラックスした)」と回答しており、同世代にとっては涙が癒し効果として作用しているようです[表5]。

約半数の45.4%の人が、涙を流すことを「自分にとって必要な行為」として捉えている。

涙を流すことを「自分にとって必要な行為である」と回答した人は、全体の45.4%と半数近くに及び、「自分にとって必要のない行為」と答えた人はわずか5.9%で、涙を流すことを肯定的に捉えている人が多いことがわかりました[表6]。

人前でも涙を見せてもよいと考える人は、59.1%。

人前で涙を流すことについての質問には、59.1%の人が「涙がこみ上げてきたときは、人前でも抑えなくてよい」と回答しました。ただ、男性では「人前では涙を見せるべきではない」と答えた人が多く、とくに20代から40代の働く世代にはその意識が強く見られました(20代男性64%、30代男性52%、40代男性42%) [表7]。

41.4%の人が、手軽に楽しめるエンタテインメント作品を選んでいる。

エンタテインメント作品を選ぶ理由として、32.6%が「思い立ったその場で楽しむことができる」、17.4%が「短時間で楽しむことができる」をあげており、全体の41.4%の人が手軽に楽しめるエンタテインメント作品を選んでいることがわかりました[表3]。

女性の方が、男性よりも涙を流す頻度が多い。

涙を流す頻度について、男性の31.2%が「3ヶ月以内に数回」涙を流しているのに対し、女性は男性の約2倍の60%が「3ヶ月以内に数回」涙を流していると答えていることがわかりました[表8]。さらに、女性の34.6%が1週間以内に涙を流したと回答する一方で、男性は17.7%が1週間以内に涙を流したと回答しており[表9]、女性の方が男性よりも頻繁に涙を流していることが確認されました。

涙を流しやすい作品ジャンルは、「ヒューマンもの」「家族もの」「恋愛もの」が上位に。

様々なエンタテインメント作品の中で、「涙を流したことがある作品ジャンル」は「ヒューマンもの」が64.4%と最も多く、次いで「家族(愛)もの」が59.6%、「恋愛もの」が39.7%と続きました。男女比較による差はあまり見られませんが、「家族(愛)もの」と答えた人は30代・40代に多く、子育て世代の共感を獲得できているジャンルと考えられます[表10]。

47%の人が「泣けるエンタテインメント作品」が増えてほしいと答えており、その内の46.5%がインターネットなどで手軽に楽しめる作品を求めている。

「今後、涙を流せるようなエンタテインメント作品が増えてほしいですか」という質問に対して、47%が「増えてほしい」と答えており[表11]、その内の68.1%が「価格・料金が安い、あるいは無料」、46.5%が「インターネットなどで手軽に楽しめる」エンタテインメント作品が増えてほしいと回答しています[表12]。

# 感動の涙は、明日へのエネルギーとなる。

## 現代人は涙を求めている。

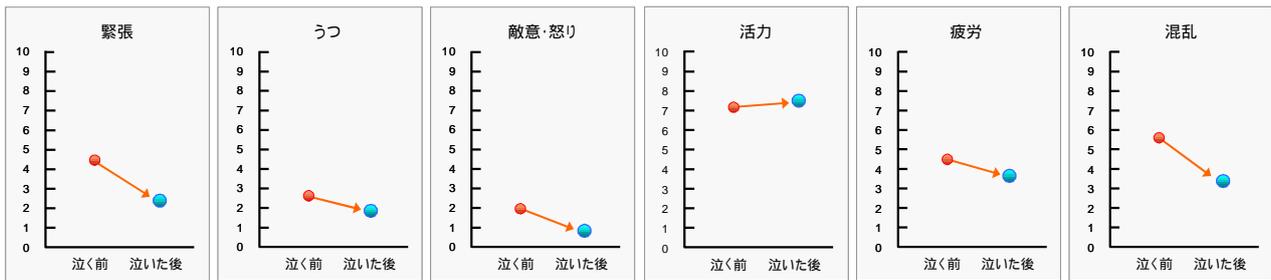
涙を流すという行為は一種の共感であり、人間の脳には共感を発現させる「共感脳」(前頭前野の内側部)があります。共感には対象となるものが必要ですが、コミュニケーションのあり方が多岐にわたる現代社会では、人々は共感し涙する機会を映画や小説、テレビドラマなどに無意識に求めているのではないのでしょうか。

## ストレス社会では自浄作用のある“感動の涙”が効果的。

人の自律神経は内臓や血管などの働きを整え、人間の体をコントロールしています。その自律神経には体を活性モードにする交感神経(起きている時に優位になる神経)とリラックスモードにする副交感神経(寝ている時に優位になる神経)があり、この2つの神経のバランスを適正に取りながら我々は生活しています。しかし強いストレスが加わると交感神経の緊張が極度に高まってしまい適正なバランスが保てなくなってしまい、さまざまな障害が発生します。ストレスが溜まっていると感じたときは、意識的に副交感神経を刺激することが、健康を維持するために必要なのです。

涙を流すときには、自律神経のバランスは副交感神経側にシフトしますから、起きてストレスの中で生活している状態でありながら、ストレスを緩和する効果が現れます。心が動いたときに流れる“感動の涙”には、ストレス緩和の作用があることを私たちは証明しています。ドラマを見たり物語を読んだりすることで、主人公や登場人物の人生を疑似体験し、感情を共有することで流れる涙が“感動の涙”です。したがって、映画や小説、テレビドラマなどで感動の涙を流すことは、心をリフレッシュさせ、ストレスを緩和させる効果があるのです。

POMSテスト( )でも同様に、涙を流したときは「スッキリ」という結果が出ています。



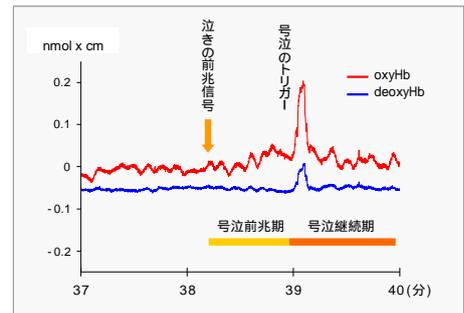
【図1】涙を流す前後のPOMS心理テストの結果比較  
POMSテストとは、気分の状態を「緊張・不安」「活力」「抑圧」「疲労」「怒り」「混乱」という六つの尺度で測る心理テストのことです。

## 涙は抑えず、自分の感情と素直に向き合うことが大切。

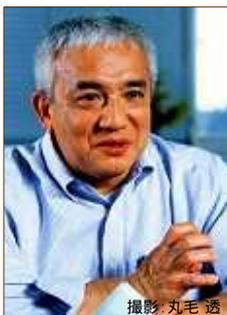
泣きたくなったらがまんをしないということが大切です。映画を観たり小説を読んで、胸にグッと詰まる感じがしたり、目が潤んできたなら、がまんでせず思いっきり涙を流すことをお勧めします。特に“号泣する”ことは共感脳を刺激するのに効果的です。“感動の涙”を流すにはある程度時間をかけて映画や本の内容に共感する必要があります。感動がこみ上げるにつれて、脳の前頭前野、特に「共感脳」の血流が増えていき(号泣前兆期)、この状態が続くと共感脳が激しく興奮(号泣トリガー期)することで“感動の涙”が流れます。【図2参照】この時、交感神経から副交感神経にスイッチされ、心をリフレッシュすることができるのです。

## 感動の涙は、明日へのエネルギーとなる。

感動して涙を流すという行為は、ストレスを消し心が癒されると同時に、共感脳の機能を高めることにもつながるので、普段から定期的に涙を流す方が良いでしょう。日々感じるストレスの中、明日の自分、明日へのエネルギーへとつなげるためにも、涙を流すことは、短時間で心理的苦痛を洗い流すことができ、気持ちをリセットさせることができるので、心と体のバランスを取り戻す方法として効果的なのです。



【図2】号泣における脳内の血流の変化 (nmol: 脳の血流量を量る単位)  
[oxyHb: 酸化ヘモグロビン、deoxyHb: 還元ヘモグロビン]  
…ともに血液中に含まれる成分のひとつ。



### 監修・考察

有田 秀穂 (ありた ひでほ)

東邦大学医学部 教授

昭和51年 東海大学医学部 助手(第二内科)  
昭和59年 筑波大学基礎医学系 講師(生理学)  
平成2年 東邦大学医学部 助教授(第一生理学講座)  
平成8年 東邦大学医学部 教授(第一生理学講座)  
平成17年 東邦大学医学部 教授(統合生理学に改名) 現在に至る

【研究分野】  
脳生理学

【主な著書】

「脳からストレスを消す技術」/ 「セロトニン欠乏脳」/ 「禅と脳」/ 「共感する脳」/ 「歩けば脳が活性化」/ 「朝の5分間脳内セロトニントレーニング」/ 「ストレスに強い脳、弱い脳」/ 「お日さまセラピー・セロトニン生活のすすめ」/ 「セロトニン脳、健康法」 他





< 第7回「NTT西日本コミュニケーション大賞」について >

**【募集テーマ】**

聞かせて、電話とブロードバンドと、あなたのこと。  
100文字からのちょっといい話。

**【募集期間】**

2009年10月19日(月)～2010年1月19日(火)

**【募集内容】**

(電話部門) 電話・FAX・電報などを使ったコミュニケーション  
(ブロードバンド部門) メール・ブログ・SNSなどを使ったコミュニケーション  
上記の通信にまつわる体験エピソード、活用アイデアなどを募集。  
文字数規定: 100文字以上2000文字以内

**【審査員】** 各界を代表する“感動を生む人たち”が審査します。(3名)

重松清(作家)、つんく(歌手・音楽プロデューサー)、中井美穂(アナウンサー)

**【朗読者】** いま注目が集まる“感動を伝える人たち”が朗読しています。(5名)

窪田等(ナレーター・声優)、高山みなみ(声優)、田口トモロヲ(俳優・ナレーター・映画監督)  
平野綾(声優・歌手)、中井美穂(アナウンサー)

**【入賞設定】** 賞金総額300万円相当

**個人賞** 全ての応募者(団体応募者を含む)が対象です。

グランプリ(各部門1名/計2名)	賞金 <b>50万円</b> +盾
優秀賞(各部門4名/計8名)	賞金 <b>10万円</b> +賞状
審査員特別賞(部門問わず3名)	賞金 <b>5万円</b> +賞状
佳作(部門問わず20名)	賞金 <b>3万円</b> +賞状

**団体賞** 5作品以上ご応募の団体さまが対象です。

最優秀団体賞(1団体)	図書カード <b>20万円分</b> +盾
優秀団体賞(4団体)	図書カード <b>3万円分</b> +賞状
団体奨励賞(小学校・中学校を含む計15団体)	図書カード <b>1万円分</b> +賞状

各団体賞は、小学校・中学校をはじめ、団体応募いただいた全ての団体さまにチャンスがあります。

一般のお客さまも、団体フォームより、同一団体名、同一代表者名にて、5作品以上ご応募いただくことで、団体応募にご参加いただけます。

**【応募方法】**

公式サイト <http://www.ntt-west.co.jp/com-tai/> の応募フォーム からご応募ください。

(郵送による応募は不可です。)

アメーバブログからの応募は、アメーバ特設ページ <http://ameblo.jp/com-tai/> をご参照ください。

アメーバブログの会員登録が必要になります。

**【募集対象】**

個人または団体での応募が可能です。年齢、性別、国籍などは問いません。

ただし、NTT西日本エリア在住の方に限らせていただきます。

NTT西日本エリア

富山・石川・福井・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

**【入賞作品の発表】**

2010年3月上旬に、入賞候補の100作品を公式サイト上にて発表いたします。

2010年3月下旬に、グランプリを含む個人賞の入賞作品と団体各賞を、公式サイト上にて発表いたします。

詳しい募集規定につきましては、公式サイトをご参照ください。 <http://www.ntt-west.co.jp/com-tai/>

【公式サイト】 これまでの受賞作・全87作品公開中。(うち44作品は朗読あり)  
 涙と感動を誘う珠玉の短編ストーリーをお楽しみください。

「コミ大」で検索、または <http://www.ntt-west.co.jp/com-tai/>



トップページ



受賞作品ライブラリー

【ちょっと泣ける受賞作品例】



第6回 電話部門 グランプリ  
 「残っていた留守番メッセージ」  
 作者:尾長 澗さん(ペンネーム)  
 朗読:平野 綾



第4回 電話部門 優秀賞  
 「待つ子供たち」  
 作者:細田アツシさん(ペンネーム)  
 朗読:田口トモロヲ



< 一般のお客さまからのお問い合わせ先 >

第7回「NTT西日本コミュニケーション大賞」事務局  
 フリーダイヤル 0120-076730

受付期間 / 2009年9月24日(木) ~ 2010年3月31日(水) 受付時間 / 午前10時 ~ 午後6時

\* 土曜・日曜・祝日および年末年始(12/28 ~ 1/4)は除きます。 \* 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

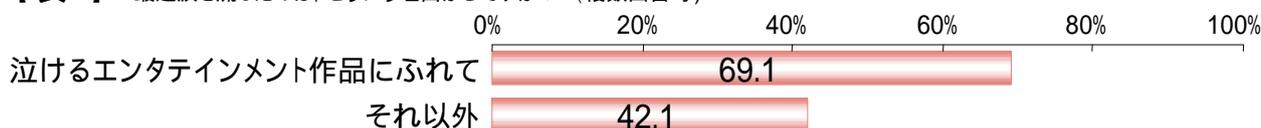
\* 電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようお願いいたします。

〔調査概要〕

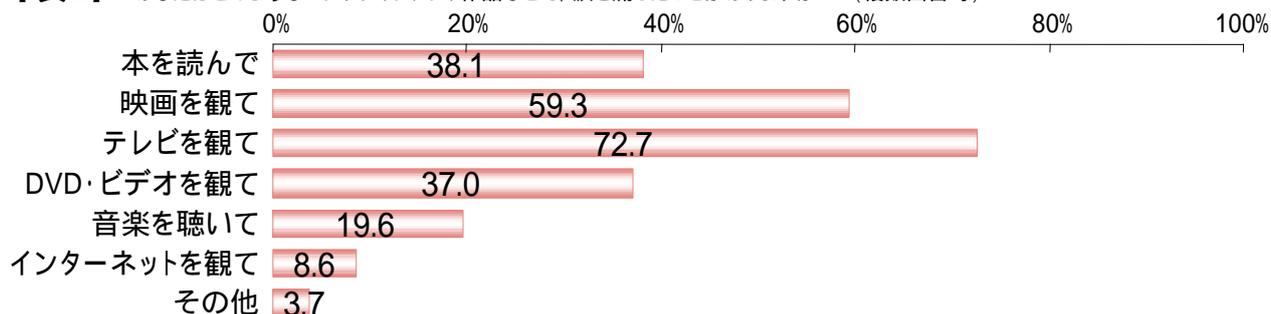
調査方法 : インターネットアンケート  
 調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社  
 調査実施期間 : 2009年10月23日(金)～10月26日(月)  
 対象地域 : 全国  
 対象者 : 男350名 女350名 (合計700名)  
 対象者年代 : 10代～70代

〔調査結果〕

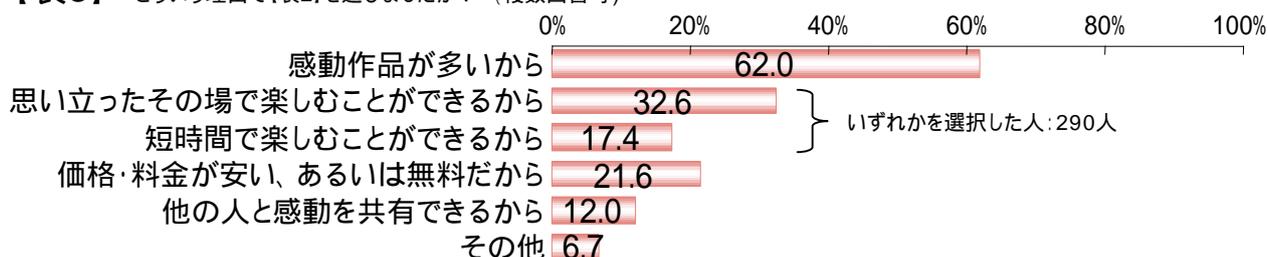
【表1】 最近涙を流したのは、どういう理由からですか？ (複数回答可)



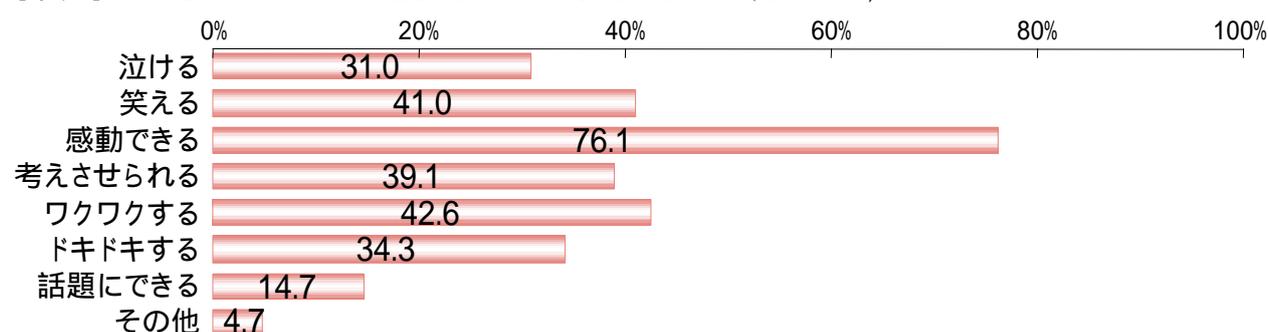
【表2】 あなたはどのようなエンタテインメント作品などで、涙を流したことがありますか？ (複数回答可)



【表3】 どういう理由で〔表2〕を選びましたか？ (複数回答可)

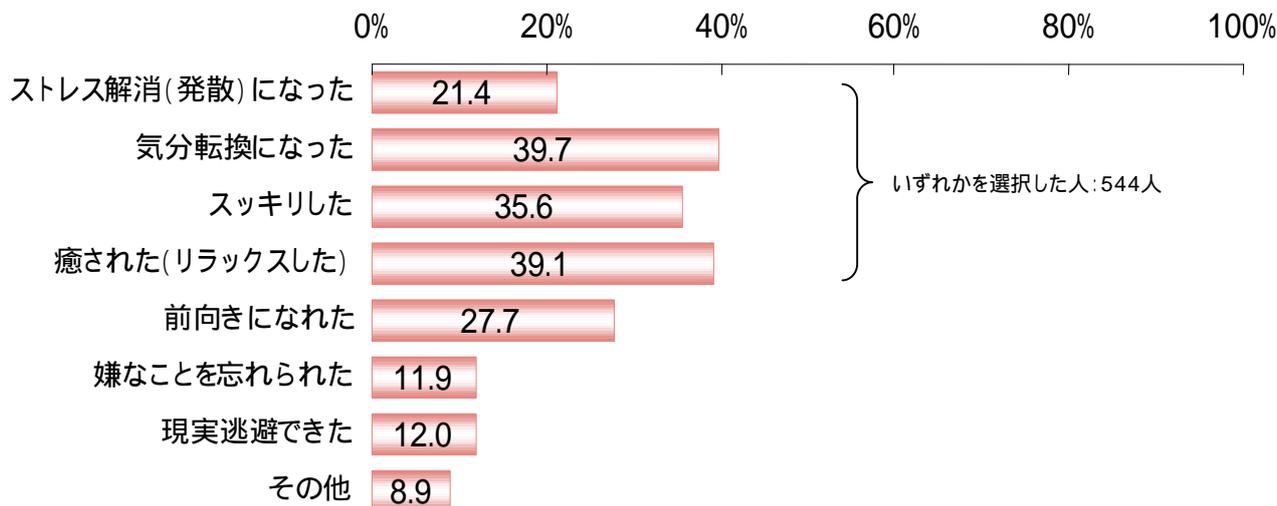


【表4】 あなたがエンタテインメント作品を選ぶ際に重視する点は何ですか？ (複数回答可)



(調査結果)

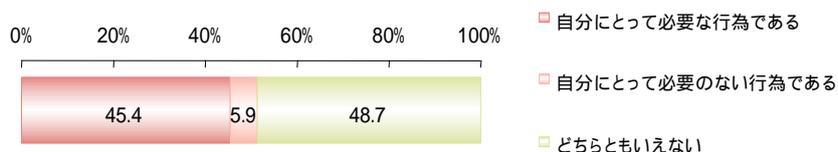
【表5】 涙を流すことで、どのような気分になりましたか？ (複数回答可)



		n	(発散) ストレス解消になった	気分転換になった	スッキリした	(リラックスした) 癒された	前向きになれた	嫌なことを忘れられた	現実逃避できた	その他
全体		700	150	278	249	274	194	83	84	62
		100.0	21.4	39.7	35.6	39.1	27.7	11.9	12.0	8.9
性別	男性	350	67	142	122	142	92	43	35	25
		100.0	19.1	40.6	34.9	40.6	26.3	12.3	10.0	7.1
	女性	350	83	136	127	132	102	40	49	37
		100.0	23.7	38.9	36.3	37.7	29.1	11.4	14.0	10.6
年代	10代	100	28	35	48	33	23	16	14	4
		100.0	28.0	35.0	48.0	33.0	23.0	16.0	14.0	4.0
	20代	100	30	49	48	34	29	17	15	12
		100.0	30.0	49.0	48.0	34.0	29.0	17.0	15.0	12.0
	30代	100	18	45	35	38	29	10	13	9
		100.0	18.0	45.0	35.0	38.0	29.0	10.0	13.0	9.0
	40代	100	25	43	39	34	29	8	10	9
		100.0	25.0	43.0	39.0	34.0	29.0	8.0	10.0	9.0
	50代	100	25	43	33	47	24	11	11	10
		100.0	25.0	43.0	33.0	47.0	24.0	11.0	11.0	10.0
	60代	100	12	36	25	47	29	10	13	8
		100.0	12.0	36.0	25.0	47.0	29.0	10.0	13.0	8.0
	70代	100	12	27	21	41	31	11	8	10
		100.0	12.0	27.0	21.0	41.0	31.0	11.0	8.0	10.0
性年代	男性-10代	50	13	14	23	18	11	5	6	1
		100.0	26.0	28.0	46.0	36.0	22.0	10.0	12.0	2.0
	男性-20代	50	12	22	19	14	13	11	7	6
		100.0	24.0	44.0	38.0	28.0	26.0	22.0	14.0	12.0
	男性-30代	50	8	28	16	19	14	7	5	3
		100.0	16.0	56.0	32.0	38.0	28.0	14.0	10.0	6.0
	男性-40代	50	12	23	19	20	14	6	4	2
		100.0	24.0	46.0	38.0	40.0	28.0	12.0	8.0	4.0
	男性-50代	50	12	23	18	27	10	7	6	3
		100.0	24.0	46.0	36.0	54.0	20.0	14.0	12.0	6.0
	男性-60代	50	5	19	14	26	11	3	3	4
		100.0	10.0	38.0	28.0	52.0	22.0	6.0	6.0	8.0
	男性-70代	50	5	13	13	18	19	4	4	6
		100.0	10.0	26.0	26.0	36.0	38.0	8.0	8.0	12.0
女性-10代	50	15	21	25	15	12	11	8	3	
	100.0	30.0	42.0	50.0	30.0	24.0	22.0	16.0	6.0	
女性-20代	50	18	27	29	20	16	6	8	6	
	100.0	36.0	54.0	58.0	40.0	32.0	12.0	16.0	12.0	
女性-30代	50	10	17	19	19	15	3	8	6	
	100.0	20.0	34.0	38.0	38.0	30.0	6.0	16.0	12.0	
女性-40代	50	13	20	20	14	15	2	6	7	
	100.0	26.0	40.0	40.0	28.0	30.0	4.0	12.0	14.0	
女性-50代	50	13	20	15	20	14	4	5	7	
	100.0	26.0	40.0	30.0	40.0	28.0	8.0	10.0	14.0	
女性-60代	50	7	17	11	21	18	7	10	4	
	100.0	14.0	34.0	22.0	42.0	36.0	14.0	20.0	8.0	
女性-70代	50	7	14	8	23	12	7	4	4	
	100.0	14.0	28.0	16.0	46.0	24.0	14.0	8.0	8.0	

(調査結果)

【表6】 あなたにとって涙を流すことは？



【表7】 人前で涙を流すことをどう思いますか？

		n	見せるべきではない 人前では涙を 流さず抑えたい	涙がこみ上げてきた時は、 人前でも抑えなくて良い	その他
全体		700 100.0	259 37.0	414 59.1	27 3.9
性別	男性	350 100.0	155 44.3	183 52.3	12 3.4
	女性	350 100.0	104 29.7	231 66.0	15 4.3
年代	10代	100 100.0	43 43.0	54 54.0	3 3.0
	20代	100 100.0	50 50.0	47 47.0	3 3.0
	30代	100 100.0	42 42.0	53 53.0	5 5.0
	40代	100 100.0	38 38.0	56 56.0	6 6.0
	50代	100 100.0	30 30.0	67 67.0	3 3.0
	60代	100 100.0	26 26.0	70 70.0	4 4.0
	70代	100 100.0	30 30.0	67 67.0	3 3.0
	性年代	男性-10代	50 100.0	24 48.0	25 50.0
男性-20代		50 100.0	32 64.0	16 32.0	2 4.0
男性-30代		50 100.0	26 52.0	21 42.0	3 6.0
男性-40代		50 100.0	21 42.0	28 56.0	1 2.0
男性-50代		50 100.0	19 38.0	31 62.0	0 0.0
男性-60代		50 100.0	17 34.0	31 62.0	2 4.0
男性-70代		50 100.0	16 32.0	31 62.0	3 6.0
女性-10代		50 100.0	19 38.0	29 58.0	2 4.0
女性-20代		50 100.0	18 36.0	31 62.0	1 2.0
女性-30代		50 100.0	16 32.0	32 64.0	2 4.0
女性-40代		50 100.0	17 34.0	28 56.0	5 10.0
女性-50代		50 100.0	11 22.0	36 72.0	3 6.0
女性-60代		50 100.0	9 18.0	39 78.0	2 4.0
女性-70代		50 100.0	14 28.0	36 72.0	0 0.0

(調査結果)

【表8】 あなたはどのくらいの頻度で、涙を流すことがありますか？

		n	数回 / 5年	数回 / 1年	数回 / 半年	数回 / 3ヶ月	数回 / 1ヶ月	数回 / 1週間	ほぼ毎日
全体		700 100.0	120 17.1	162 23.1	99 14.1	98 14.0	151 21.6	60 8.6	10 1.4
性別	男性	350 100.0	88 25.1	102 29.1	51 14.6	38 10.9	48 13.7	22 6.3	1 0.3
	女性	350 100.0	32 9.1	60 17.1	48 13.7	60 17.1	103 29.4	38 10.9	9 2.6
年代	10代	100 100.0	7 7.0	20 20.0	13 13.0	20 20.0	28 28.0	10 10.0	2 2.0
	20代	100 100.0	12 12.0	25 25.0	19 19.0	16 16.0	20 20.0	7 7.0	1 1.0
	30代	100 100.0	17 17.0	22 22.0	18 18.0	17 17.0	18 18.0	7 7.0	1 1.0
	40代	100 100.0	17 17.0	22 22.0	9 9.0	17 17.0	22 22.0	12 12.0	1 1.0
	50代	100 100.0	16 16.0	22 22.0	13 13.0	11 11.0	26 26.0	10 10.0	2 2.0
	60代	100 100.0	28 28.0	26 26.0	12 12.0	8 8.0	20 20.0	5 5.0	1 1.0
	70代	100 100.0	23 23.0	25 25.0	15 15.0	9 9.0	17 17.0	9 9.0	2 2.0
性年代	男性-10代	50 100.0	7 14.0	14 28.0	9 18.0	8 16.0	6 12.0	5 10.0	1 2.0
	男性-20代	50 100.0	11 22.0	18 36.0	11 22.0	5 10.0	4 8.0	1 2.0	0 0.0
	男性-30代	50 100.0	13 26.0	17 34.0	7 14.0	8 16.0	4 8.0	1 2.0	0 0.0
	男性-40代	50 100.0	13 26.0	11 22.0	7 14.0	6 12.0	9 18.0	4 8.0	0 0.0
	男性-50代	50 100.0	14 28.0	13 26.0	5 10.0	4 8.0	10 20.0	4 8.0	0 0.0
	男性-60代	50 100.0	15 30.0	15 30.0	5 10.0	3 6.0	8 16.0	4 8.0	0 0.0
	男性-70代	50 100.0	15 30.0	14 28.0	7 14.0	4 8.0	7 14.0	3 6.0	0 0.0
	女性-10代	50 100.0	0 0.0	6 12.0	4 8.0	4 8.0	22 44.0	5 10.0	1 2.0
	女性-20代	50 100.0	1 2.0	7 14.0	8 16.0	11 22.0	16 32.0	6 12.0	1 2.0
	女性-30代	50 100.0	4 8.0	5 10.0	11 22.0	9 18.0	14 28.0	6 12.0	1 2.0
	女性-40代	50 100.0	4 8.0	11 22.0	2 4.0	11 22.0	13 26.0	8 16.0	1 2.0
	女性-50代	50 100.0	2 4.0	9 18.0	8 16.0	7 14.0	16 32.0	6 12.0	2 4.0
	女性-60代	50 100.0	13 26.0	11 22.0	7 14.0	5 10.0	12 24.0	1 2.0	1 2.0
	女性-70代	50 100.0	8 16.0	11 22.0	8 16.0	5 10.0	10 20.0	6 12.0	2 4.0

【表9】 最近で涙を流したのはいつ頃ですか？

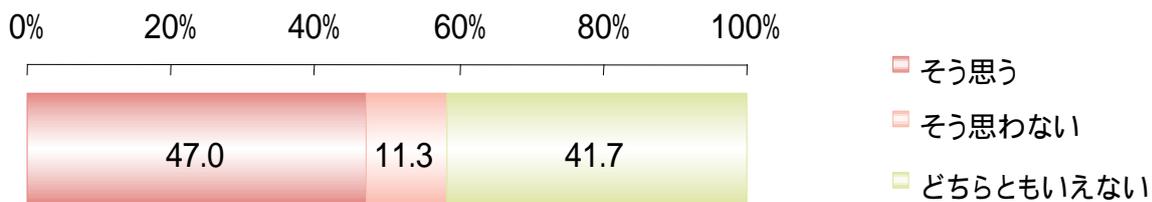
		n	約5年前	約1年前	約半年前	約3ヶ月前	約1ヶ月前	約1週間前	1週間以内
全体		700 100.0	68 9.7	111 15.9	63 9.0	66 9.4	147 21.0	62 8.9	183 26.1
性別	男性	350 100.0	44 12.6	71 20.3	36 10.3	40 11.4	70 20.0	27 7.7	62 17.7
	女性	350 100.0	24 6.9	40 11.4	27 7.7	26 7.4	77 22.0	35 10.0	121 34.6
年代	10代	100 100.0	5 5.0	9 9.0	6 6.0	14 14.0	20 20.0	10 10.0	36 36.0
	20代	100 100.0	4 4.0	10 10.0	17 17.0	11 11.0	23 23.0	12 12.0	23 23.0
	30代	100 100.0	9 9.0	19 19.0	9 9.0	12 12.0	19 19.0	8 8.0	24 24.0
	40代	100 100.0	9 9.0	15 15.0	6 6.0	9 9.0	23 23.0	12 12.0	26 26.0
	50代	100 100.0	7 7.0	16 16.0	6 6.0	5 5.0	20 20.0	8 8.0	38 38.0
	60代	100 100.0	15 15.0	23 23.0	10 10.0	6 6.0	21 21.0	7 7.0	18 18.0
	70代	100 100.0	19 19.0	19 19.0	9 9.0	9 9.0	21 21.0	5 5.0	18 18.0
性年代	男性-10代	50 100.0	5 10.0	7 14.0	5 10.0	10 20.0	9 18.0	3 6.0	11 22.0
	男性-20代	50 100.0	4 8.0	8 16.0	11 22.0	8 16.0	8 16.0	5 10.0	6 12.0
	男性-30代	50 100.0	7 14.0	15 30.0	3 6.0	5 10.0	12 24.0	4 8.0	4 8.0
	男性-40代	50 100.0	7 14.0	8 16.0	4 8.0	5 10.0	11 22.0	5 10.0	10 20.0
	男性-50代	50 100.0	4 8.0	13 26.0	3 6.0	2 4.0	8 16.0	4 8.0	16 32.0
	男性-60代	50 100.0	8 16.0	13 26.0	4 8.0	4 8.0	10 20.0	3 6.0	8 16.0
	男性-70代	50 100.0	9 18.0	7 14.0	6 12.0	6 12.0	12 24.0	3 6.0	7 14.0
	女性-10代	50 100.0	0 0.0	2 4.0	1 2.0	1 2.0	11 22.0	4 8.0	7 14.0
	女性-20代	50 100.0	0 0.0	4 8.0	2 4.0	6 12.0	3 6.0	15 30.0	7 14.0
	女性-30代	50 100.0	2 4.0	4 8.0	6 12.0	4 8.0	7 14.0	4 8.0	20 40.0
	女性-40代	50 100.0	2 4.0	7 14.0	2 4.0	4 8.0	12 24.0	7 14.0	16 32.0
	女性-50代	50 100.0	3 6.0	3 6.0	3 6.0	3 6.0	12 24.0	4 8.0	22 44.0
	女性-60代	50 100.0	7 14.0	10 20.0	6 12.0	6 12.0	11 22.0	4 8.0	10 20.0
	女性-70代	50 100.0	14 28.0	12 24.0	3 6.0	3 6.0	9 18.0	2 4.0	11 22.0

(調査結果)

【表10】 あなたはどのようなジャンルの作品で、涙を流したことがありますか？（複数回答可）

		n	ヒト マンモ の	恋 の	家 族 (親 の)	青 春 の	動 物 の	ス ポ ー ツ の	ノ ン フ ィ ク シ ョ ン の	戦 争 の	そ の 他
全体		700	45.1	27.8	41.7	13.9	20.3	11.0	22.4	16.5	1.6
性別	男性	350	22.4	11.2	18.6	5.8	7.0	6.5	10.5	7.5	1.1
	女性	350	64.0	32.0	53.1	19.4	20.0	19.7	30.0	21.4	3.1
年代	10代	100	4.5	5.2	5.1	3.4	2.0	1.1	2.4	2.9	0.5
	20代	100	67.0	5.2	5.3	2.9	2.4	1.5	2.8	3.0	3.3
	30代	100	6.6	4.4	7.1	1.6	3.3	1.8	3.7	2.5	0.0
	40代	100	66.0	4.4	7.0	1.6	3.3	1.8	3.7	2.5	0.0
	50代	100	7.3	4.7	6.6	2.4	3.7	2.1	2.8	2.3	1.0
	60代	100	7.4	4.3	6.2	2.0	3.4	2.1	4.0	2.4	4.0
	70代	100	6.0	2.0	6.0	0.9	3.5	1.3	3.7	1.6	0.0
性年代	男性-10代	50	2.0	2.1	2.1	1.3	0.7	1.2	1.4	1.4	0.4
	男性-20代	50	3.4	1.8	2.0	1.4	0.8	0.9	1.3	1.2	1.1
	男性-30代	50	68.0	3.6	4.0	2.8	1.6	1.8	2.6	2.4	2.0
	男性-40代	50	3.3	1.9	3.5	0.7	1.3	1.2	1.6	1.2	0.0
	男性-50代	50	66.0	3.8	7.0	1.4	2.6	2.4	3.2	2.4	0.0
	男性-60代	50	3.6	2.0	3.1	1.3	0.9	1.2	1.4	0.9	1.1
	男性-70代	50	7.2	4.0	6.2	2.6	1.8	2.4	2.8	1.8	2.0
	女性-10代	50	3.4	2.0	2.7	0.9	1.4	1.1	2.0	1.3	0.3
	女性-20代	50	68.0	4.0	5.4	1.8	2.8	2.2	4.0	2.6	6.0
	女性-30代	50	2.9	0.7	2.8	0.7	1.2	1.0	1.5	0.6	0.0
	女性-40代	50	5.8	1.4	5.6	1.4	2.4	2.0	3.0	1.2	0.0
	女性-50代	50	3.8	0.7	2.4	0.5	0.7	0.8	1.5	0.9	0.2
	女性-60代	50	7.6	1.4	4.8	1.0	1.4	1.6	3.0	1.8	4.0
	女性-70代	50	2.5	3.1	3.0	2.1	1.3	0.4	1.2	1.5	1.1

【表11】 今後、涙を流せるようなエンタテインメント作品が増えてほしいと思いますか？



【表12】 【表11】で「そう思う」と回答した方に質問します。どんなエンタテインメント作品が増えてほしいですか？（複数回答可）

